

# (5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

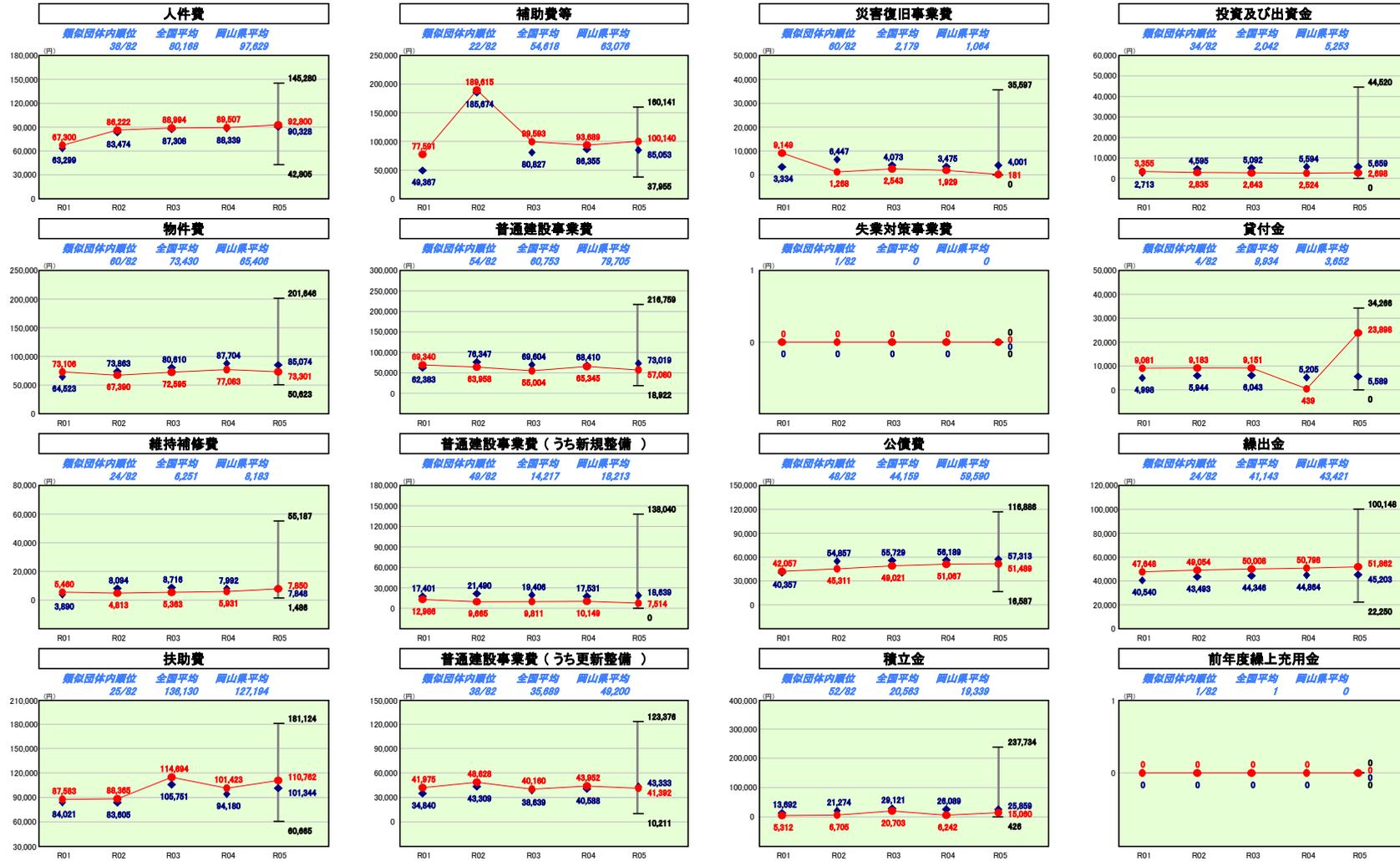
令和5年度

岡山県笠岡市

人口	44,773人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	43,966人(R6.1.1現在)	道徳実質赤字比率	-%
面積	136.07km <sup>2</sup>	実質公債費比率	7.8%
歳入総額	26,698,472千円	将来負担比率	48.2%
歳出総額	26,287,188千円	市町村類型	R01 I-2 R02 I-2 R03 I-2
実質収支	336,901千円	(年度毎)	R04 I-2 R05 I-2
標準財政規模	13,548,567千円		
地方債残高	28,106,413千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



### 性質別歳出の分析概

物価高騰対策としての非課税世帯等への給付を行ったことや、近年障害福祉サービスや障害児通所給付等が右肩上がりで増加していることで、扶助費が9,339円の大増幅となっており、類似団体平均を大きく上回っている。  
 また、一部事務組合への負担金や公営企業への繰出金の大幅増、新型コロナウイルス・物価高騰対策の補助金事業の実施により補助費等も6,451円の大増幅となり、こちらも類似団体平均を大きく上回っている。  
 一方で、普通建設事業費については、民間の認定こども園整備事業への補助金や救急船購入費が普及となったこと、令和5年度は学校施設の大規模改修事業がなかったことなどにより、8,265円の大増幅となり、類似団体平均を大きく下回った。  
 貸付金については、地域総合整備資金貸付金事業の実施により一時的に大きく増加している。